

人権啓発センター だより

平成29年1月

No.37



雑感

人類がアフリカから全世界に移動し繁栄できたのは、食物を分け合う能力のためだという話を聞いて、独占する人類だったら、移動も人口の増加もなかっただろうと妙に納得したことがある。

最近の世界は、自国利益第一で国内の多数派のむきだしの利益代表が、分かり易く、多くの支持を集めているように見える。

そうだと、少数派の意見は顧みられにくく、利益が相反する場合の摩擦は大きい。

ぶつかり合って、卓越した一国、大きな力が世界を支配するパックスなんとなかが実現すれば平和になるが、永久には続かず、また少数者の利益が必ずしも守られる訳でもない。

食料を分け合う、他人の権利を認める能力が人間にあるなら、様々な場面で人権の啓発や知識を普及させていくことは、世界の摩擦を分かち合いで乗り越えることができる将来につながっていく取り組みになると思う。

(理事長 西尾)

人権あれこれ

～「高知県に住む外国人」～

12月4日に高知市の中央公園で開催した「じんけんふれあいフェスタ」のじんけんクイズスタンプラリーのひとつ「高知県に住む外国人で一番多いのはどこの国の人ですか」の間に、答えは3択「中国、韓国、フィリピン」の中から選ぶものであり、小学生の正答率が高かった。平成26年12月末日のデータでは、中国1,230人、韓国又は朝鮮602人、フィリピン577人で、中国籍の方が一番多い。高知県には70か国3,505人の外国人が住んでいる。在留資格で言うと、教育、技能実習、留学等による人が圧倒的に多く、次いで永住者、配偶者等の順になっている。

今年は、大型外国客船が高知新港に寄港し、たくさんの外国人観光客が帯屋町周辺でショッピングやグルメを楽しんでいる姿を見かけた。



商店にも、中国語やハングル、英語などの看板が挙がっていた。高知にも国際化が身近になってきたなと嬉しく思った。

オリンピック・パラリンピックに向けて、今後ますます国際交流が広がり、多くの外国人が高知県を訪れるようになるだろう。その人達が気持ちよく過ごし、また、高知県を訪れてほしいものだ。

2016年5月24日第190回国会の衆議院本会議で「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）が可決・成立した。人種差別を助長・煽動する行為を禁止するものであるが、人種差別だけでなくいかなる差別も人間を傷つけるものであることを私たちは忘れてはならない。

(研修講師 松下)

じんけんライブラリー

一押し本

『心の強い子どもを育てる ネット時代の親子関係』

石川 結貴 / 著 花伝社 (1,200円+税)

LINEを使った青少年の犯罪やいじめがたびたび報道される今、スマホを駆使しSNSで簡単につながる、理解を超えた子どもの世界に不安と恐怖を感じる親も多いと思います。母親として子育てに取り組みながら家族問題を追いつけてきた著者が、今の子どもに求められる力は「英語」「コミュニケーション力」「強いメンタル」の3つであると感じ、それらの力をもった子どもを育てるために親としてどう子どもと向き合うべきなのか、などをまとめた1冊です。

(企画啓発課 松本)



人権ふれあい支援事業の紹介

当センターでは、高知県内の市町村や NPO、ボランティアグループ等の民間団体が、人権意識の普及・高揚のため実施する講演会、研修会、交流会等の経費の一部を選考のうえ支援しています。

平成 28 年度は、10 団体に支援決定し、現在さまざまな団体が事業を実施しています。

その一つをご紹介します。

- 支援団体：認定 NPO 法人高知こどもの図書館
- 事業の名称：世界のバリアフリー絵本展 2015
- 実施日時：2017.2.4 (土) ~ 2.19 (日)
- 場 所：高知こどもの図書館 2 階 多目的スペース

《内 容》

2015 年度に IBBY 障害児図書資料センターが選書した 21 カ国 53 冊の本の展示・閲覧（手話付き絵本・ブリス（絵文字）付き絵本・さわる絵本・布絵本・障害が描かれている本・やさしく読める本・弱視の人用の拡大本など）

2017.2.4 (土) → 2.19 (日)

高知こどもの図書館

2階 本の広場 10:00-18:00 (火・水曜休み)

世界のバリアフリー絵本展 2015

～IBBY障害児図書資料センター 2015年推薦図書～

2015年度にIBBY障害児図書資料センターが選書した21カ国53冊の本のほか、てんく絵本、布絵本、こどもの図書館所蔵のバリアフリー関係の本などを展示します。

耳が聞こえない子どもたちの増殖である「手話」が描かれた絵本。通字だけでは読むのが困難な子どもたちを助ける「絵文字」が描かれた絵本。目が見えない・見えにくい子どもでもさわることで楽しめる「さわる絵本」や「点字付き絵本」。世界には、さまざまなバリアを克服して、子どもたちになじみやすい絵本があります。バリアフリー絵本を通じて、障害者の人権や社会の在り方などについて、共に考えましょう。

主催：認定NPO法人高知こどもの図書館
共催：日本国際児童図書館協会(JIBBY)
協力：NPO法人てんく絵本ふれあい工房
公益財団法人、ふくふくろう会
後援：高知新聞社、IBBY高知支部、高知新聞高知支局
NPO高知協会、高知市障害児支援委員会

問合せ：認定NPO法人高知こどもの図書館
〒780-0844 高知市永国寺町6-34
TEL:088-820-8255 FAX:088-820-8251

本の提供		展示方法のバリエーション	
種類	内容	展示方法	展示場所
手話付き絵本	手話の読み方	手話の読み方	展示場所
絵文字付き絵本	絵文字の読み方	絵文字の読み方	展示場所
さわる絵本	さわる絵本の読み方	さわる絵本の読み方	展示場所
布絵本	布絵本の読み方	布絵本の読み方	展示場所
障害が描かれている本	障害が描かれている本の読み方	障害が描かれている本の読み方	展示場所
やさしく読める本	やさしく読める本の読み方	やさしく読める本の読み方	展示場所
弱視の人用の拡大本	弱視の人用の拡大本の読み方	弱視の人用の拡大本の読み方	展示場所

(企画啓発課 松本)



事業報告

『第20回じんけんふれあいフェスタ』を開催しました

12月4日（日）に高知市中央公園で、第20回じんけんふれあいフェスタが行われました。

ステージでは、オープニングセレモニーから始まり、光の村養護学校の生徒による黒潮太鼓演奏、その後、人権作文コンテスト高知県大会の表彰式が行われました。今年の人権作文コンテストは、高知地方法務局長賞を受賞した須崎中3年、村上一矢さんが、中学生対象の同コンクール全国大会で日本放送協会会長賞も受賞しました。続いて、盲導犬のデモンストレーション、「それいけ！アンパンマン ショー」が行われました。アンパンマン ショーでは、雨にもかかわらず、たくさんの来場者でした。午前の最後には人権イメージキャラクターと子どもたちによる歌とダンスショーが行われました。

午後のステージは、今年生まれた高知県人権啓発マスコットキャラクターの愛称発表式から始まりました。全国から、1,430通という多数の応募があり、愛称は高知市在住の小学生が考えた「こころん」に決定しました。



(公財) 高知県人権啓発センター人権啓発マスコットキャラクター 「こころん」

はじめまして！「こころん」です。「こころん」という名前は、コロコロとしたかわいい見た目と「こころ」という言葉から考えられました。

「こころん」はみんなの人権を守る犬の妖精です。いろんな意見を聞くための大きな耳と、あたたかな心を持っています。背中には羽根もついているよ！

ぜひ、市町村、団体、企業等において「こころん」を活用し、人権啓発の推進等にお役立てください。

(使用方法についてはお問い合わせください)



雨のため、高知オレンジリボンキャンペーンたすきリレーゴールイベントは中止となりましたが、活動PRをしていただき、ステージ最後は、「トイレの神様」が大ヒットした歌手、植村花菜さんのステージで締めくくられました。また、会場内では、ヒューマンビートボックスのパフォーマンス、バルーンアートのプレゼントのほか、子ども広場でのクリスマスカード作りや木の遊び場も好評でした。飲食小間にはご当地グルメフェアをはじめ、県内の就労施設から、飲食・物産店として8団体の出店協力がありました。

今年は、約6,000人の方にお越しいただき、明るく・楽しく人権に関心をもってもらえるイベントになりました。

(企画啓発課 佐伯)

Information お知らせ



平成 28 年度人権啓発研修 ハートフルセミナーの紹介

ハンセン病に関する正しい知識の普及啓発事業 映画「あん」上映会

- 日 時：2017（平成29）年1月29日（日）
① 午前10時～ ② 午後2時～
（開場はそれぞれ30分前。上映時間113分）
- 場 所：高知県立人権啓発センター6階ホール
- 料 金：無料
- 定 員：270名（事前の申し込みは不要です）

ハンセン病とは

- ・かつて「らい病」と呼ばれた、感染力の極めて低い細菌による感染症の一つです。
- ・日本では、誤った施設入所政策などがとられたため、患者やその家族に激しい苦痛を与えるとともに、多くの人がこの病気に対して強い偏見を持つことになりました。
- ・平成8年に「らい予防法」は廃止されましたが、今もなお根強い偏見や差別が残っています。



《あらすじ》

縁あってどら焼き屋「どら春」の雇われ店長として単調な日々をこなしていた千太郎（永瀬正敏）。そのお店の常連である中学生のワカナ（内田伽羅）。

ある日、「どら春」の求人募集の張り紙をみて、そこで働くことを懇願するひとりの老女、徳江（樹木希林）が現れ、どら焼きの粒あん作りを任せることになった。徳江の作った粒あんはあまりに美味しく、みるみるうちに店は繁盛。しかし心ない噂が、彼らの運命を大きく変えていく…。

～1月の最終日曜日は「世界ハンセン病の日」です～



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
 - ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
 - パネル
1人3セット以内で、期間は1カ月以内です。
- ※ 直接来所できない場合は送付もいたします。
（送料は利用者のご負担となります）



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名（机を使用する場合は180名）
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp/>